



Uniface Anywhere バージョンアップ時の留意点



ご注意

・この資料の一部または全部を、株式会社シナプスイノベーションの書面による事前の許可なく、いかなる形態においても使用、複製、開示することはできません。

・この資料の記載事項は、将来予告なしに変更されることがあります。

Uniface は、Uniface B.V.の商標または登録商標です。

その他の会社名、製品名は関連するそれぞれの会社の商標または登録商標です。

資料番号 SU1022017-002

発行日 2017年7月1日 第1版

■■■■テクニカル・サポートのご案内■■■■

| オンライン・サポート・サイト | テクニカル・サービスデスク |
|---|--|
| Uniface 製品およびサポートに関する追加情報は、弊社 Uniface サポート・サイトで提供されています。 https://www.fcs21.jp/uniface-support | 営業時間 月～金 9:30～17:30 (祝祭日、弊社休業日は除く) Uniface 製品の利用に関する技術的な質問やサポートに対するお問い合わせ窓口として、テクニカル・サービスデスクを設置しています。 お問い合わせの際は、弊社 Uniface サポート・サイトのお問い合わせフォームをご利用ください。 |

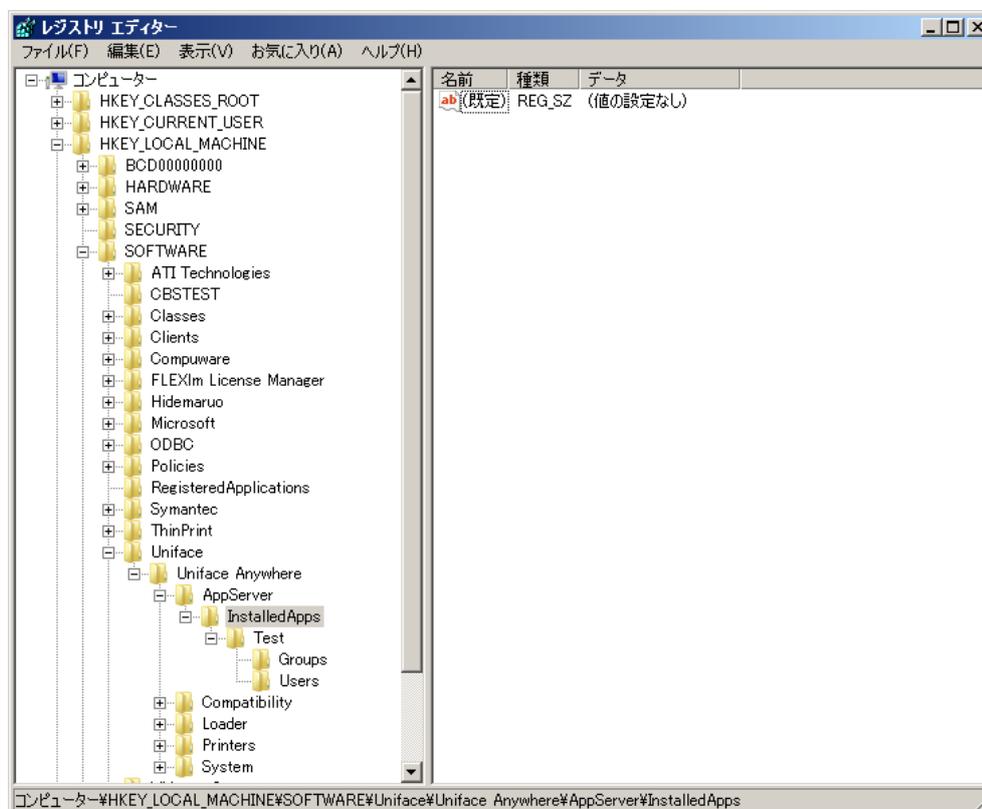
この文書では、Uniface Anywhere (以下、Anywhere) のバージョンアップを行う際に留意すべき点を説明します。

1. バックアップ

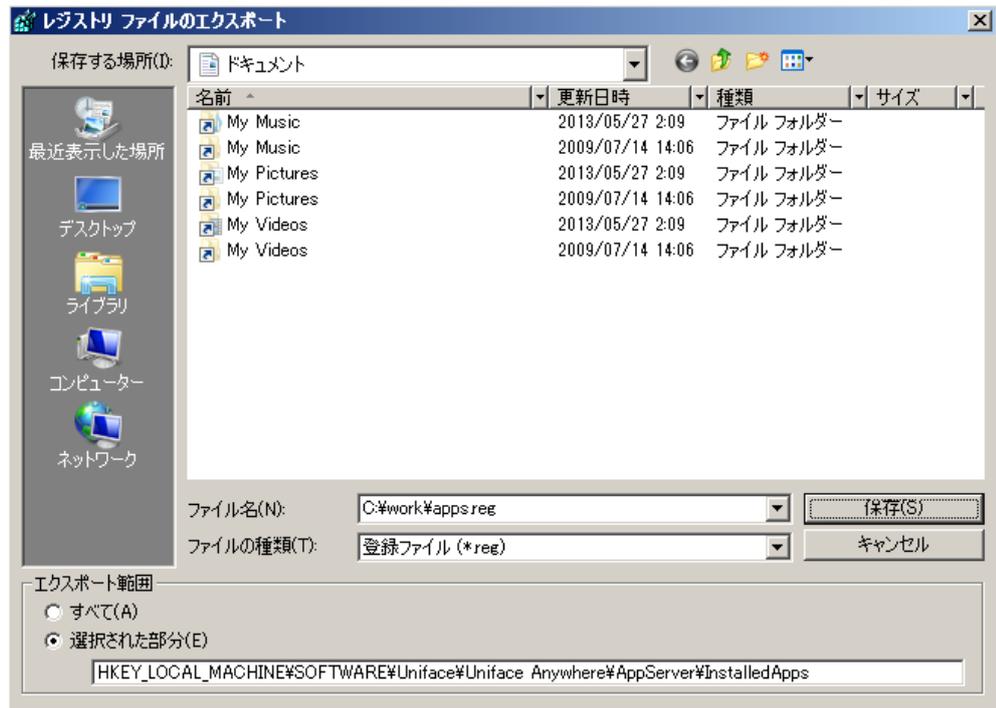
Anywhere では、登録したアプリケーションや設定情報をファイル等に出力する機能がありません。そのため、バックアップについては以下の手順で取得してください。

・ 登録アプリケーション情報

管理者ユーザでレジストリエディタ (regedit.exe) を起動します。



「HKEY_LOCAL_MACHINE¥SOFTWARE¥Uniface¥Uniface Anywhere¥AppServer¥InstalledApps」を選択し、メニューの「ファイル」から「エクスポート」を選択します。



ファイル名を付けて保存します。本書では「C:\work\apps.reg」とします。
この操作で、登録アプリケーションのパスや起動オプションが抽出できます。

・ 設定情報

下記フォルダに存在する XML ファイルを退避してください。

C:\ProgramData\Uniface\Uniface Anywhere

これらの XML に設定情報が記録されています。

上記フォルダに存在しない場合は、下記のフォルダを確認してください。

C:\Users\All Users\Uniface\Uniface Anywhere

・ ログオンページ

ブラウザ経由でログオンを行う際、オプション等を変更しているのであれば
ログオンページをバックアップしてください。

デフォルトの「logon.html」は、Anywhere のインストールフォルダにある
「Web」フォルダに配置されています。

**オプション変更の為にコピーされたファイルを使用されている場合は、
そちらのバックアップを取得してください。**

2. インストールモジュール

インストールに使用するファイルは、それぞれ下記 URL からダウンロードしてください。
いずれも Uniface 社のダウンロードサイト内です。

- ・ バージョン4系列:

→ <https://download.uniface.com/downloads/UnifaceAnywhere/v4/>

サーバ用最新版は「V4x64UAHost-B22382.exe」です。

クライアント用最新版は「V4x86UAClients-B22382.exe」です。

- ・ バージョン5系列:

→ <https://download.uniface.com/downloads/UnifaceAnywhere/v5/>

サーバ用最新版は「V5x64UAHost-B24620.exe」です。

クライアント用最新版は「V5x86UAClients-B24620.exe」です。

(2017年6月現在)

3. 個別パッチ

Windows Update に対応する為の個別パッチは、各ダウンロード URL の下に
更新プログラムの番号 (KBxxxxxxx等) が名前となっているディレクトリがあり、
その中に配置されています。

例) バージョン 4 系列で更新プログラム番号 KB3168965 用パッチの場合

<https://download.uniface.com/downloads/UnifaceAnywhere/v4/KB3168965/>

なお、個別パッチは OS に**該当する更新プログラムが適用されている場合**に
適用してください。

4. インストール方法

インストールを行う前に、インストールの方法について検討する必要があります。

・ 更新インストール

現在インストールされている Anywhere に対し、上書きインストールを行う方法です。

インストールモジュールは、実行時にインストール済の Anywhere を自動検出し、変更時のオプション(変更(modify)、修復／更新(Repair/Update)、削除(Remove))が表示されます。

ここで修復／更新(Repair/Update)を選択すると更新インストールが実行されます。

利点としては、既存の設定や登録アプリケーションを継承できる事が挙げられますが、万が一の為必ずインストール前にバックアップを取得してください。

・ 新規インストール

現在インストールされている Anywhere を一旦アンインストールし、新たにインストールを行う方法です。

設定を見直す、インストール先を変更する等の場合に行ってください。

なお、**先に現行の Anywhere をアンインストールしないと、インストール先を変更しようとしても自動検出により更新インストールになってしまいます**のでご注意ください。

また、インストールを行う際は、モジュールを「**管理者として実行**」から実行してください。

5. 個別パッチの適用

個別パッチを適用する場合、以下の点にご注意ください。

- ・ **対象バージョン**

各個別パッチには、適用すべき対象バージョンがリビジョンまで細かく設定されています。

対象バージョンは、**個別パッチと同じ場所に置かれているテキストファイルの冒頭部**に記載されていますので、必ずご確認ください。

対象バージョンではない Anywhere に対して適用を行うと、エラーが発生し処理が終了します。

- ・ **適用の順序**

個別パッチを適用する前に、対象の更新プログラムが OS にインストールされているかをご確認ください。

もし更新プログラムがインストールされていない場合は、**更新プログラムを先にインストールしてください。**

6. ライセンス

バージョン 4 以前からご使用のお客様でバージョン 5 へとバージョンアップを行う場合は、代理店営業担当者を通じて Uniface 社に新しいバージョン用のライセンス発行を申請してください。

バージョン4用に発行されたライセンスは、そのままではバージョン 5 を実行できませんので、新しいライセンスの発行申請はバージョンアップが確定した段階で実施されるようお勧めします。

その他、技術的なご質問につきましては、シナプスイノベーション Uniface サポート (<https://www.fcs21.jp/uniface-support>)までお問い合わせください。